

# 本市における主権者教育の推進 に向けた取組みについて

平成30年5月25日  
総合政策部

# 目次

- |          |                              |           |
|----------|------------------------------|-----------|
| <b>1</b> | <b>主権者教育の推進プロジェクト（文部科学省）</b> | <b>p1</b> |
| <b>2</b> | <b>主権者意識を育むために（1）</b>        | <b>p2</b> |
| <b>3</b> | <b>主権者意識を育むために（2）</b>        | <b>p3</b> |

# 主権者教育の推進プロジェクト（文部科学省）

- 文部科学省では「主権者教育の推進のための検討チーム」（主査：義家弘介文部科学副大臣）の最終まとめを踏まえ、単に政治の仕組みについて必要な知識の習得のみならず、**主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う力を育む主権者教育を推進。**
- 主権者教育の推進に当たっては、**子どもたちの発達段階に応じ、学校、家庭、地域が互いに連携・協働し、社会全体で多様な取組が実施できるよう各種推進方策を実施。**



## 幼稚園等

将来、社会の一員として活躍できる素地を養う観点から、指導方法等の在り方に関する調査研究を実施



## 小学校・中学校 高等学校等

- 次期学習指導要領改訂において、高等学校において主体的な社会参画に必要な力を実践的に育む「公共（仮称）」の設置や、小中学校における社会科の在り方について検討
- 社会参画の態度を育むための体験的・実践的な学習プログラムの開発



## 家庭・地域（公民館の活用、自治会との連携等）

- 地域資源を活用した教育活動・体験活動や、子供が主体的に関わる地域行事などの機会を創出
- 地域における活動が多様かつ継続的なものとなるよう、地域人材の活用促進、コーディネート機能を強化
- 基本的な生活習慣を身に付け、自立心を養うことができるよう家庭教育の環境整備、お手伝いなどの家庭生活に主体的に参画する取組を促進



## 地方公共団体

総合教育会議の活用をはじめ、教育委員会と選挙管理委員会等の他部局が連携し、地域における主権者教育を推進（地域行事や出前講座の実施など）



## 大学等



- 入学時のオリエンテーション等を通じた学生への啓発活動
- キャンパス内における期日前投票所の設置
- 地域の関係団体等と連携し、地域の課題解決にむけ主体的に行動する人材の育成



# 主権者意識を育むために（１）



主権者教育はどのような場面で行えばよいのですか。

【学校教育活動全体で】

教科はもちろんのこと、道徳や総合的な学習の時間、特別活動も活用し、学校教育活動全体で取り組むことが大事ですね。【実践例】をいくつか示します。



## 【国語】

学級討論会等で学校生活や社会生活の問題について、自分の立場や意見をはっきりさせて話し合う。

## 【社会】

- 公共施設等を訪問し、働く人や地域の方へのインタビューや調査等を行い、生活と政治のつながりを学ぶ。
- 選挙のしくみを理解するとともに政治参加の重要性を考える。
- 身近な地域における事象を取り上げ、観察、調査を通して課題を見だし、自分たちなりの解決策等を考えるなど、住民参加による地方自治を学ぶ。

## 【技術・家庭】

自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について学ぶ。

## 【道徳】

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。例えば、勤労や公共の精神の内容において、自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする人々の生き方を考える。

## 【総合的な学習の時間】

実社会や実生活との関わりを重視した探究的な活動を計画し、他者と協同して問題を解決していく活動を行う。例えば、「よりよい地域をつくるために」などのテーマが考えられる。

## 【特別活動】

- 子供たちにとって身近な社会である学級や学校における生活改善のための話し合い活動や実践活動を通して自分たちの学級や学校の問題を解決する。
- 生徒総会等によって議会制民主主義を体験する。

## 主権者意識を育むために（２）



主権者教育は学校だけで行うものなのですか。

### 【地域とともに取り組む】

- 選挙管理委員会等と連携し、出前講座等を活用することにより、実際の政治や選挙に必要な知識を学ぶ。
- 職場訪問・職場体験等により、訪問先の方から職業人として必要な資質・能力又は課題等の話を聞き、将来について考える。
- 地域の方（ゲストティーチャー等）を学校へ招いて、地域の現状と課題を考える。例えば、「東日本大震災からの復興に向けた取組」などをテーマとした活動も考えられる。
- 地域をよりよくするためにできることを考え、地域の人たちと一緒にボランティア活動等を行う。など

### 【家庭で取り組む】

- 子供が家庭で基本的な生活習慣を身に付け、自立心を養うことができるようにする。
- 家族の一員として手伝いなどをさせることにより家庭生活への参画を促す。  
【政治への関心をもたせるために】
- 新聞やテレビのニュースを家族で視聴する機会をつくる。
- 選挙の時に子供と一緒に投票所に行き、投票する姿を見せる。
- 選挙ポスターの掲示板の前で、候補者の話をする。など
- ★ 学校だよりや、保護者会等の機会をとらえて、具体的な家庭の役割について保護者にお知らせすることも有効です。

学校だけではなく、外部機関、地域の方と連携し一緒に取り組んでいくことが大切です。家庭の役割も大きいですね。

